

特集 水道週間はじまるよ!

6月1日(水)～7日(火)

6月1日から「水道週間」が始まります!

水道週間とは、国の呼びかけで、毎年6月1日からの一週間、住民の皆さんに「水道についてもっと知っていただく」ことを目的に、昭和34年から始まったもので、期間中は全国の水道事業者などが、様々な広報活動を行っています。

市水道局では、水道をより身近に感じていただけるよう、毎年この期間中、「水」に関するイベントを行い、ご好評をいただいております。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イベントは縮小しますが、「絵画展」「写真展」の作品をご覧ください、水に対して思いをはせてみませんか。



第64回スローガン
大切な水と一緒に暮らす日々

絵画展

小学4年生の豊かな感性や独創性あふれる絵画を展示します。(入賞作品のみ)



令和元年の展示の様子

実施するイベント

6/1(水)～7(火)
AM10:00～PM8:00

展示会場
鹿島ショッピングセンター
エブリア 2階ギャラリー
いわき市鹿島町米田日渡5

写真展

「水」に関する風景を見事にとらえた写真を展示します。(全作品)



令和元年の展示の様子

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、展示を中止し、水道局ホームページでの掲載とする場合があります。

YouTube 知りたい! いわきの水道

水道週間の期間中に例年行っていた浄水場の一般公開については、今年も中止とさせていただきます。

浄水場の仕組みなどがわかる広報用映像を、i Tube (いわき市公式動画チャンネル/YouTube) で配信しています。

ぜひ、ご覧ください。



お問い合わせ 総務課 広報情報係 TEL 22-9314

「災害に強い」いわきの水道を目指し、水道管の耐震化を進めています!



水道管の耐震化は、進んでいるの?

市では、東日本大震災の際、水道管の継手部(つなぎ目)が地震の影響ではずれてしまったことが主な原因となって、水道管からの漏水が多発し、当時市内のほぼ全域となる約13万戸が断水する事態となったことから、古くなった水道管を地震に強い「耐震管」に取り替える工事を計画的に進めています。

令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする震度5強の地震では、水道管の耐震化を進めたことや、これまでの災害経験を踏まえた迅速な対応により、最小限の断水(2戸)に留めることができました。



水道管の耐震化を進めていることにより、年々地震に強い水道管になっています。今後も計画的に耐震化を進めていきます。



「耐震管」って、どんな構造になっているの?

水道局では、主に次の2種類の耐震管を使用しています。

ダクタイル鋳鉄管(耐震管GX形)は、管の継手部にある爪同士が引っかかって、地震の強い力を受けても抜けにくい構造になっています。

水道配水用ポリエチレン管は、管の継手部が電気融着により一体化※されており、地震の強い力を受けても、柔軟に曲がることのできる構造になっています。

※ 電熱線が埋め込まれている管のつなぎ目に電気を流し、発熱させると管同士が溶けて一体になります。

ダクタイル鋳鉄管(耐震管GX形)



(一社)日本ダクタイル鉄管協会 提供

水道配水用ポリエチレン管



配水用ポリエチレンパイプシステム協会 提供

お問い合わせ 配水課 庶務係 TEL 22-9316

水道管の工事にご協力をお願いします

水道管の工事は、市街地での工事も多く、交通規制や騒音など、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

